

一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 御中

2021年1月27日
日本光電工業株式会社
ニューロモジュレーション機器部
部長 岡田 史郎

謹啓 時下、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

「きこえの懇談会」の人工内耳セッションでお寄せいただきましたご質問に、以下の通り回答させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

(人工内耳について)

1. 健康保険と動産保険で対応できる範囲について詳細な説明がほしい。

【健康保険】

プロセッサ本体に関しては、メーカーによる保守中止など修理が不可能な場合に適用となる可能性があります。ケーブル等部品に関しては、故障品を医療機関にご持参いただいた場合に健康保険が適用となるケースが多いようです。いずれの場合も、まずはかかりつけの医療機関にご相談ください。

【動産保険】

プロセッサ本体が、盗難や火災、破損などの偶然な事故によって損害を受けた場合に保険金が支払われます。ただし保険会社の審査があります。

※健康保険、動産保険共に原則紛失には対応しておらず、紛失時は全額自己負担となりますのでご注意ください。

2. 新機種の場合、利点を言葉で並べるだけでなく客観的で具体的な資料、評価を知りたい。

医療機器については、医薬品医療機器法で医療関係者以外の一般人を対象とした広告を行ってはならないと規定されています。従いまして、新機種などの情報は、原則として病院の医師、言語聴覚士の先生から患者様に提供します。メーカーからは先生方に随時製品の情報を提供しており、先生方は患者様の医学的な状態などを踏まえてそれぞれの患者様に適した製品をお勧めし、もしくはメーカーごとの特長を説明して患者様に選んでいただきます。

※例外的に、「体温計、血圧計、コンタクトレンズ、AED、補聴器」は一般人に対する広告が認められています。

3. 修理期間、代替機の用意などの期間短縮、利便性は進んでいるか。
修理自体は交換対応により時間はかかりませんが、故障箇所の特定や、本体の場合はプログラミングが必要なことからどうしても時間を要することがあります。また、昨年4月から修理代が補装具費支給制度の対象となったことで、自治体から支給決定されるまでに時間がかかります。装用者様にご迷惑がかからないよう、医療機関に故障箇所特定用の部品を設置したり、代替機を増やして対応しております。
4. 完全埋め込み型の実現や新機能は？今後の進化はどのような方向に向かうのか。
残念ながら弊社では情報を持っておりません。完全埋込型の実現に期待しています。
5. 医療機関、医師による術式や技量の差異は存在すると考えて良いのだろうか。
6. 人工内耳の手術を受けるにあたって、病院を選ぶ場合、どのような手順で行動すれば良いのか
回答を控えさせていただきます。

以上